

寛容、どうでしょう？

いま『表現の不自由』を語り合う

ライター

武田 砂鉄

河出書房新社を経て現職。著書に「紋切型社会」(Bunkamuraドゥマゴ文学賞受賞)
「芸能人寛容論」「コンプレックス文化論」「日本の気配」など。
TBSラジオ番組「ACTION」金曜日パーソナリティー。朝日新聞書評委員。

ほぼ日の学校長

河野 通和

中央公論社(中央公論新社)、新潮社で「婦人公論」「中央公論」「考える人」
各編集長を経て現職。朝日新聞パブリックエディター。
著書に「言葉はこうして生き残った」「『考える人』は本を読む」など。

慶應義塾大学法学部・朝日新聞ジャーナリスト学校共催

朝日新聞寄付講座：ジャーナリズム総合講座特別シンポジウム

12/9 月 [開場/16:00~] 16:30 ~ 18:00

場所：慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール

受講要項
無料

対象：塾生（在校生）、塾員（卒業生）。事前申し込みが必要です。

申し込みは法学部ウェブサイトから (<http://www.law.keio.ac.jp/>)

